

赤潮情報第17号

(八代海：シャットネラ属、コクロディニウム警報 続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部

TEL0964-56-2613 FAX56-4533

シャットネラが41細胞、コクロディニウムが1800細胞確認されており、引き続き警戒が必要です。

本日、熊本県が調査したところ、シャットネラ属が海水1mL 当たり**最大41細胞**、確認されています。また、コクロディニウムも**最大1800細胞**、確認されており、海況によって、さらに増殖する可能性があります(詳細は下図を参照してください)。

両種ともに極めて有害で、特にシャットネラ属は海水が着色しない程度の細胞数でも魚介類がへい死することがあります。周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に十分注意するとともに、餌止め等の対策を行ってください。

※数字は水深0m, 2m, 5m, 10m層の海水1mL 当たりのシャットネラ属の細胞数です。【採水時刻】

()の数字はコクロディニウム。

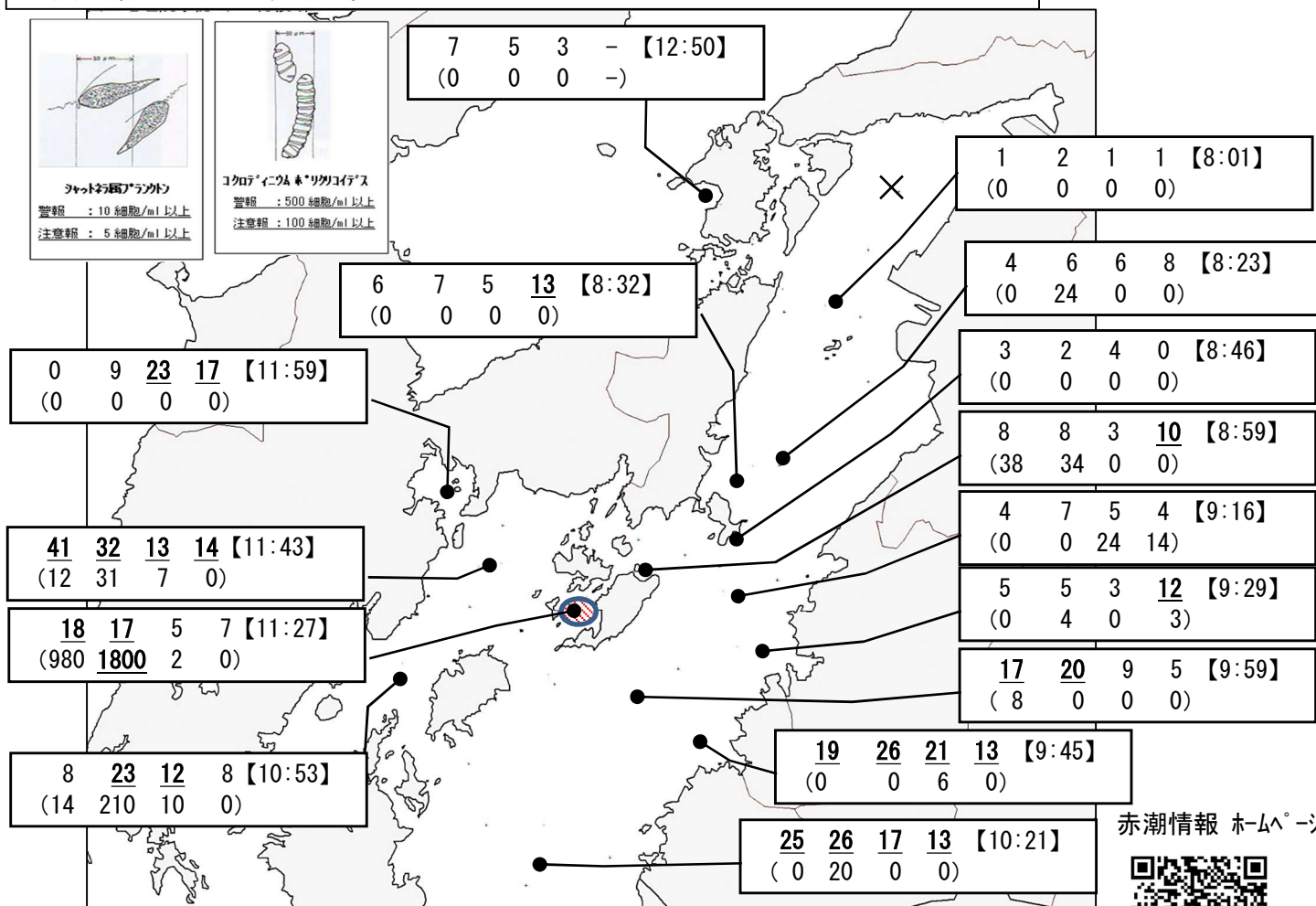


図 赤潮発生海域

※ はコクロディニウムによる着色域です

※ ×は、すべての層でシャットネラ属とコクロディニウムが、ともに0細胞。

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください(ホームページの更新に時間を要する場合があります)。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット https://akashiwo.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku_id=1&sid=1

赤潮情報 ホームページ



赤潮ネット

